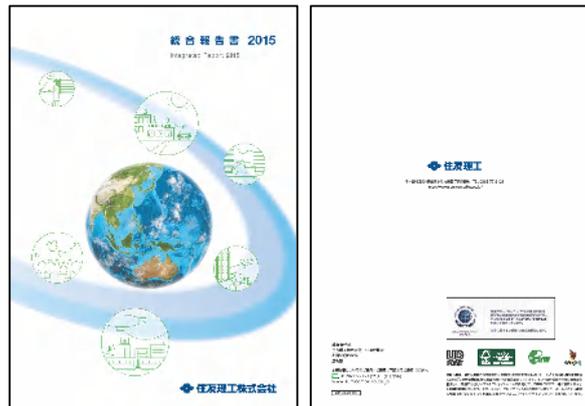


住友理工グループの活動報告 「統合報告書 2015」発行

住友理工株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長兼 COO：松井徹）は、住友理工グループとして2回目となる統合報告書を発行しました。



「統合報告書 2015」

本報告書は、当社グループの業績を表す財務情報と、経営戦略や CSR などの非財務情報を統合し、会社情報として発信するもので、長期的な視点に基づく投資家を中心とした幅広いステークホルダーに対し、当社グループに関する情報を総合的に提供することを目的としています。当社では昨年、CSR に関する取り組みや成果をまとめた「CSR 報告書」やアニュアルレポート（英語版のみ／ホームページで掲載）などをついにし、初めて統合報告書にまとめました。今年、昨年より 12 ページ増やし、より多くの情報を掲載しています。編集にあたって、国際統合報告評議会（IIRC）が発表している「国際統合報告フレームワーク ver.1.0」などを参考にしました。

会社方針や経営体制などを代表取締役会長兼 CEO 西村義明が自らの言葉で語る「会長メッセージ」、グローバル戦略などについては社長 松井の「社長メッセージ」として掲載。また、「高分子材料技術」「総合評価技術」をコアコンピタンスとし、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指す「ビジネスモデル」、各事業・製品の紹介、各種取り組みやデータを伝える「社会・環境」、10年間の推移が一覧できる「財務データ」など幅広い項目を網羅しています。本報告書の作成につきましては、独立第三者保証に加え、第三者意見を頂戴し、社外からの提言を反映しながら信頼性と情報開示の質の向上に努めています。また、こうした情報を海外の皆様にも提供するため、10月に英語版を発行する予定です。

当社は、「住友理工グループ経営理念」である「技術革新を基盤にお客様の要望に応え、優れた製品・サービスを提供します」という考えに基づき、今後もすべてのステークホルダーの皆様に資する情報を適時適切に開示してまいります。

当社コーポレートサイト <http://www.sumitomoriko.co.jp/>

以上